

ぼくの犬キング

ウォーバーグ作／中村妙子訳



♣ どうわ新訳シリーズ・10

ぼくの犬^{いぬ}キング

サンドール S. ウォーバーク作・中村妙子訳

N.D.C. 933 偕成社 1974年 80p. 24cm

Warburg, Sandol Stoddard: GROWING TIME



検印省略

1970年 初版 1974年 重版

訳者 中村 妙子

発行者 今村 広

印刷者 小宮山 敬之

発行所 株式^{かい}会社^{せい} 偕^{しや}成^{しや}社

東京都新宿区市ヶ谷砂土原町3の5

電話 東京260-3221:振替 東京1352番

写植新誠写真植字社

印刷小宮山印刷株式会社

製本文勇堂製本工業株式会社

◇ この本は、著作権者ホートンミフリン社と契約し、独占翻訳権をとったものです。

◇ 落丁本・乱丁本はおとりかえします。

© 中村妙子, 1970

8397-410100-0904



ぼくの犬^{いぬ} キング

ウォーバーグ 作
ウェイスガード 絵
中村 妙子 訳

※ も く じ

あかい もうふ…………… 9

りんごの木きの下したで…………… 20

おばあちゃんの こもりうた…………… 36

おとうさんのおみやげ…………… 56

すばらしいよあけ…………… 67

原作者 ウォーバーク

一九二七年アラバマ州に生まれ、東部のニューイングランドで少女時代を送る。他に「考える本」「私のだいきな猫」等の作品がある。

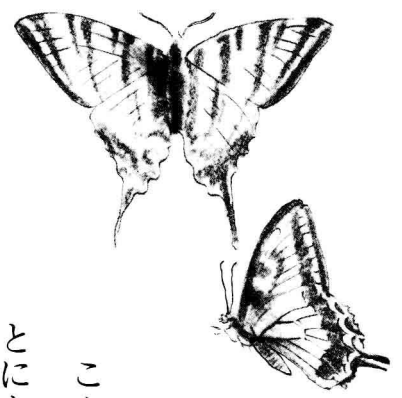
画家 ウェイスガード

一九一六年生まれのイラストレーター。アメリカで最高の絵本に与えられるコルデコット賞受賞。絵・文ともに自作の絵本もある。

訳者 中村妙子なかむら たみこ

一九二三年東京生まれ。津田塾大英文科、東京大学西洋史学科を卒業。『ぼくの黒うさぎシャデラック』等英米児童書の翻訳多数。





日本にほんのみなさんへ

こんど日本にほんで「ぼくの犬いぬキング」が出版しゅつぱんされることになったときいて、わたしはうれしくてたまらないのです。

子どもこのころ、わたしは日本にほんってどんな国くにだろうと、ずいぶんいろいろ想像そうぞうしてみたものでした。わたしはそのころ、富士山ふじさんやさくらの花はな、子どもこのあそびなどのうつくしいさしえのはいった「むかしの日本にほん」という絵本えほんを、とてもだいじにしていました。

ちいさいころのおもいでというものは、ずいぶんあとまで、びつくりするほど、いきいきと心こころにのこっているものです。

わたしはもう年としよりですし、まだい子どもこも日本にほんをた



作者ウォーバーク

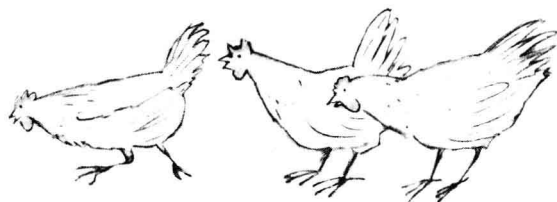
ずねたことはありません。でも、わたしもジェミーのおばあちゃんのように、「あなたの心のあるところに、あなたのたからもあるのだ」と心からしんじているひとりなのです。

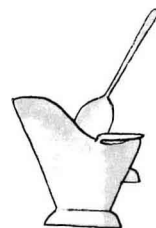
わたしはいまでも、よく日本のことを想像します。

想像のなかのわたしは、まだちいさな子どもで、さくらの花にみとれていたり、空たかくあがっているところを、ふしぎそうにみあげていたりします。

いまでも日本にいれば、あの絵本のなかのたかが風になっただけではないかしら——わたしには、そうおもえてなりません。

S・S・ウォーバーク





GROWING TIME

by Sandol S. Warburg

Text copyright © 1969 Sandol S. Dollard

Pictures copyright © 1969 Leonard Weisgard

Original English edition published by

Houghton Mifflin Company, Boston

Japanese translation rights arranged through

KAIGAI HYORON SHA, Tokyo

さびしくてかなしくてたまらないジェミーは、
おやすみなさいもいわずにねてしまいました。







あかい　もうふ

ジェミーは、大きな、ふるいいなかやにすんでいます。いえのまわりには、りんごや、なしや、ぶどうの木がたくさんあって、のばらとゼラニウムがさいています。

たつてから、もうなんじゅうねんにもなるので、うらげんかなどは、くずれかけているほです。でも、おばあちゃんは、いつもいのです。

「こんなにつるばらが、ぎっしりからみついているんだもの、あと百ねんぐらいはだいじょうぶ、まだまだ、しっかりしたもんだよ。」それは、すみずみにまでしあわせがあふれている、あたたかい、いごこちのよいいえでした。



キングは、ジェミーのいぬ
です。からだは、ジェミーよ
りずっと大きい^{おお}のですが、も
うとしよりなので、たいてい
は、だいどころのストーブの
わきにしいた、あかいふるも
うふのうえにねそべって、う
つらうつらしています。

ときどき、ねぼけて、ひく
いうなりごえをあげ、しつぽ
でばたばたと、ゆかをたたき



ます。

ジェミーが、まだとても小さくて、やっとつかまりだちをはじめたところ、あるくことをおしえてくれたのは、このキングでした。

ジェミーが、キングのふわふわしたきんいろのけのなかに、りょう手のゆびをつきたててしがみつくと、キングは、いっぽいっぽ、ちゅういぶかくふみしめながら、そろりそろりと、だいどころのゆかのうえを、あるいてくれたものでした。

すこしするとジェミーは、キングのせなかにかた手をかけて、よちよちあるくようになりました。またもうすこしたつと、ひとりですっかりあるきだし、キングについてどこへでも、でかけていきました。

はるにはまきばにいつて、キングといっしょにかけまわりました。なつにはいけで、水あそびをしました。ジェミーが、あまりふか



いところまではいつていくと、キングがシャツのすそをくわえて、ひっぱりだすのでした。

あきには、あかやきんいろのおちばのうえを、なかよくごろごろころげたり。はらはらとちる木のはが、じめんまでとどかないうちにつかまえようと、きょうそうで、ぐるぐるかけまわったり。

そしてふゆ。またはる。なつ、あき……。

ときがたつにつれて、ジェミーのあしは、ますますじょうぶになりました。

いまでは、まきばのさくにも、らくらくよじのぼれますし、木のぼりもへいちゃらです。いけにむかって、ぽーんと石をほうり、石が水をきつてはずみながらとんでいくのを、一かい、二かいと、とくいでかぞえたりもしました。

けれども、キングはもう、ジェミーについてきてはくれ

ません。キングは、おじいさんでした。よわっていました。むかし、はのあとをつけておもちゃにした、テニスのボールにも、いまではみむきもしませんでした。

キングのすきなこと、それは、あたたかいストーブのわきにねそべって、じつとしていたことだったのです。

キングはしょっちゅう、うとうとと、ゆめをみていました。ねむったまま、ひくいこえでうなるとき、しつぽでばたばたとゆかをたたくとき、キングは、ながいっしょうのあいだのさまざまなできごとを、そつと、おもいかえしていたのでした。

ゆかいなことも、ありました。かなしいことも、ありました。でもとにかく、どの日^ひもどの日^ひも、すばらしかったです。

あるあさ、ジェミーは、いつもよりずっとはやく、目^めをさましました。

